



- 1 **羅針盤** ハラスメントと正しく向き合う
- 3 これぞ躍進流!! ドラッカー活用術
- 5 躍進のニューフェイス
- 5 完璧な雨仕舞でシーズンに備えましょう
- 7 「足場パック」サマーキャンペーンをご利用ください
- 8 アフターコロナを考える

## ハラスメントと正しく向き合う



### 以前は理不尽さが美化されていた

テレビやネット、新聞などの報道において、セクハラ、パワハラ、モラハラなどに関する記事に触れることがあります。最近では、ある映画監督や俳優のセクハラが取り上げられましたが、もちろんこうした問題は芸能界に限って指摘されるものではなく、すべての業界、職場で、襟を正して臨まねばならないものです。

先月の本稿でご案内しましたが、私は去る4月に還暦を迎えました。そして、ビジネスマンとして駆け出しのころは、職場には昭和の仕事文化が色濃く残り、様々なハラスメントが横行していた時代でした。

その当時は、強い嫌がらせでなくても、立場が弱い相手には強く罵ったり、平気で不機嫌な態度をとったり、逆に何かを尋ねられても黙りこくって無視したりしても、特に咎められませんでした。つまり、力のある者が多少の横暴なふるまいをするのは当たり前で、それどころか、ハラスメントや理不尽さに耐えることを、ビジネスマンの修業という名で美化していたのです。

しかし、昨今では、たとえ相手がお客さまでも、あまりにも不当な態度をとれば、モンスタークレイマーとして扱われるのが当たり前になっています。ましてや、同じ職場の仲間内で理不尽なことを行えば、決して許されるものではありません。

そのため、「何度言えば分かるんだ」などという暴言や、「本当に使えないな」などという悪口は言うに及ばず、無視したり、弱い者いじめをしたり、過剰な仕事量を要求したりするなどの問題は、あらゆる職場で徐々に解消されつつあるようです。

## 「何でもハラスメント」は通用しない

しかし、そういうハラスメントを認め、職場での正しい人間関係の実現を進めようとする動きの一方で、行き過ぎた受け止め方をする人がいるのも事実です。

例えば、普通の注意・指導であるにも拘らず、「それってパワハラじゃないですか」「今の言い方、モラハラですよ」と、「何でもハラスメント」にしてしまうのです。つまり、正しく注意・指導しても、いたずらに過剰反応し問題をすり替えるのです。

そもそも注意・指導は理由があるからなされるのです。そして、その方法が社会通念上認められる範囲を逸脱していなければ、注意・指導に従わないと、何にでも反発する人という評価をされ、逆にハラスメントを逆手に取った加害者とされることもあるのです。

基本的に、会社には社員に対して指示命令を出す権利があります。それが不合理でない限り、指示命令を拒否できないのです。そのことを忘れて「これは私の仕事ではないので出来ません」とは言えません。そうして出来ない理由を探す癖ばかりがつけば、ビジネスマンとしての評価は間違いなく下がるでしょう。

## ハラスメント排除で有効な人間関係が実現

指導する側は、どんな時でも自分が正しいなどと誤解してはいけません。また、指導される側も、自らのやるべきことを認識し、その義務を果たすことで権利が主張できると心得てください。つまり、正当な権利を主張できる人は、自らの義務を認識し果たそうとしている人だけなのです。

実際に何を持ってハラスメントとするのかはグレーゾーンに置かれていることが多く、単なる相性の悪さを持ってハラスメントとしているケースもありますので、誰もが納得するような客観的な基準による判断が必要となります。同時に、仕事の目的を達成させるために最も合理的な手法を冷静に自問自答できれば、数々のハラスメントはマイナス要素以外の何物でもないことが分かります。

職場におけるハラスメント排除の最大の目的は、有効な人間関係の実現です。それには、指導する側もされる側も、お互いが相手の立場と人格を認め、ビジネスマンとしてのルールを順守してはじめて成り立つものです。そして、ハラスメントと正しく向き合い、指導する側もされる側も、相手を尊重することが第一であることを忘れないでください。

## これぞ躍進流!! ドラッカー活用術 〈『マネジメント編』その3〉



今月も、経営学者 P.F.ドラッカー氏の言葉を捉え、それをどのように躍進の経営に役立っているかをご案内してまいります。現在は、『マネジメント(エッセンシャル版)』(上田 惇生・訳)に記載されている内容をお話しさせていただきます。

私は経営者としては20年以上のキャリアを有していますが、私の考えが皆様の経営に関するお考えの一助になれば、望外の喜びです。よろしくお付き合いください。

### 今月の言葉 その1 仕事のやりがい

「焦点は、仕事に合わせなければならない。仕事が可能でなければならない。仕事がすべてではないが、仕事がまず第一である。たしかに働くことの他の側面が不満足であれば、もっとも働きがいのある仕事さえ台無しになる。ソースがまずければ、最高の肉も台無しになる。だが、そもそも仕事そのものにやりがいがないければ、どうにもならない」

### ●笠井輝夫の解釈 好きなってやりがいが生まれる

躍進では何よりも実践を重視しています。それを踏まえて、仕事をやる前に好き嫌いや向き不向きを言うのではなく、まずやってみるように指導しています。高名な物理学者で、随筆家、俳人でもある寺田寅彦氏の言葉に、「興味があるからやるというよりは、やるから興味ができる場合がどうも多いようである」があります。成功する人は、好きなことを仕事にしている人よりも、実際に手掛けている仕事を好きになっている人だからです。

そして、「好きこそものの上手なれ」とあるように、好きになれば自然に上達し同時にやりがいも生まれます。その仕事から人生の糧になる何かを得られるとと思っている人は、どんな仕事をしていても喜びを得られものです。何事も自分次第なのです。

### 今月の言葉 その2 人を生かす

「人のマネジメントとは、人の強みを発揮させることである。(中略)人が雇われるのは、強みのゆえであり能力のゆえである。組織の目的は、人の強みを生産に結びつけ、人の弱みを中和することにある」

「マネジメント(注:マネージャー、管理者、責任者の意味)のほとんどが、あらゆる資産のうち人が最も活用されず、その潜在能力も開発されていないことを知っている。だが、現実には、人のマネジメントに関する従来のアプローチのほとんどが、人を資源としてではなく、問題、雑事、費用、脅威として扱っている」

### ●笠井輝夫の解釈 **強みを生かし弱みを中和**

人の弱みを中和するとは、短所を長所でカバーすることと捉えても良いかもしれませんが。また、根本を直すことはできなくても、その短所が表に出ないように、なんらかのカバーをすればよいのです。

そして、問題(欠点やミス)、雑事(人事管理)、費用(人件費)、脅威(裏切り、背任)などを解決することで資産になります。それは、強みを生かし、弱みを中和することによって為されるのです。短所を強引に否定すれば、個性が失われることもあり、場合によっては長所にも影響が出るものです。決して「角を矯(た)めて牛を殺す」ようなことはしないでください。

### 今月の言葉 その3 **組織の社会的責任**

「組織が果たすべき最大の貢献、すなわち最大の社会的責任とは、自らに特有の機能を果たすことである」

「権限を持つものは責任を負う。逆に責任を負うものは権限を要求する」

### ●笠井輝夫の解釈 **権限と責任はワンセット**

躍進の使命は、あくまで適切かつ最高レベルの施工の実現です。防水や木材保存の技術開発は、本来はメーカーや研究所が果たすべき役割です。しかし、躍進として出来る範囲であれば果たすべきであり、それは社員と協議する必要があると認識しています。

しかし、仮に、自らが及ぼすもの以外の社会的責任を果たすことに際して、会社の屋台骨を揺るがすようなレベルになってはいけません。万が一、会社自体が潰れてしまえば、それ自体が無責任になってしまうからです。企業が社会の公器であることも果たせなくなり、社員を路頭に迷わせることになります。

権限と責任はコインの裏表であり、常にワンセットで考えるべきものです。そして、マネジメント(注:マネージャー、管理者、責任者の意味)が持つのは権限です。それは、会社と従業員の間にもみ機能するものであり、間違っても権力ではありません。

往々にして権力は、権限自体を曲げたり、その範囲を逸脱したりすることができ、場合によっては、仕事の範囲を超えて様々な部分に干渉することがあります。そんなものは、マネジメントにはないことを肝に銘じておきましょう。



## 躍進のニューフェイス

しらいしじゅんだい

白石純大(22) 2022年4月入社

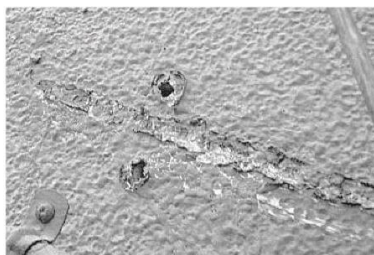
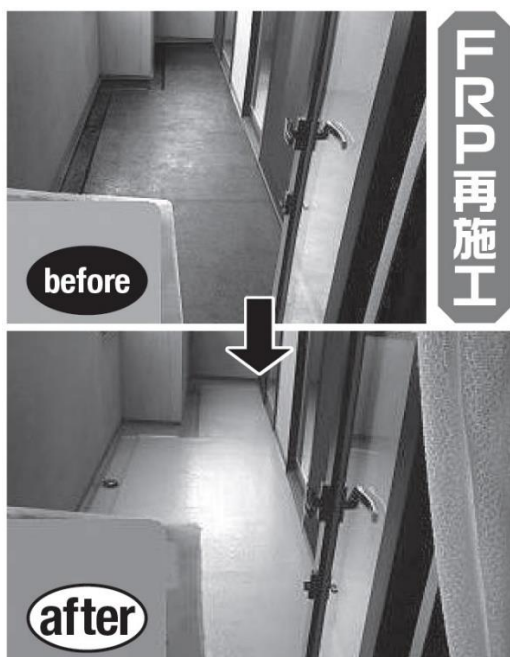
現在、工事部の一員として、日々お客さまをお伺いしております。

学生時代は地理を専攻し、特に地域開発を中心に学んでいました。そのため、躍進の会社説明会で、防水、防蟻、「Air 鉋」事業などの可能性を知り、家づくりを通して街づくりの一端を担いたいという気持ちが強くなり、入社した次第です。

趣味は、小、中、高と続けてきたサッカーで、ポジションはディフェンダーです。

何事にもチャレンジし、やっておけばよかったというような後悔をしない人生を送ることをモットーに、様々な技術やコミュニケーション能力を養いながら自分の得意なことを探し出し、それを極めてみたいと思っています。よろしくお願いいたします。

### 完璧な雨仕舞でシーズンに備えましょう



雨仕舞が不十分ですと、雨漏りをはじめ躯体に対する悪影響など、様々な問題が発生します。梅雨や台風のシーズン到来前に、雨仕舞を完璧にしましょう。

## 防水効果を多面的にアップ

躍進のコアコンピタンスである FRP 防水の保証期間は 10 年ですが、防水層を保護するトップコートの塗り直し（前ページ左写真参照）などを怠ると、防水効果が薄れていることもあります。

FRP防水は、当社独自の 2PLY+ドレン部分の「サンドウィッチ工法」が最大の特徴。ガラスマット 1 層の場合では、立ち上がりの塗膜不足や入隅・ジョイント部分の動きが大きい場合に不安が残りますが、ガラスマット 2 層に中塗り、トップコートという手順の場合、入隅部が 4 層になるため安心です。

そして、前述のように、ドレン部分には「サンドウィッチ工法」を採用し、躯体の動きに追従して破断、ひび割れ、剥離を防ぎます。

また、壁体内への雨水侵入を防ぐクラック（前ページ中写真参照）補修をお薦めしています。クラックやサッシ周りの傷みによって、壁体内に雨水が浸入し、そのままにしておけば、シロアリや腐朽菌が発生します。

特に、腐朽菌は、木材の主成分であるセルロースやヘミセルロースなどを分解して、木材を多孔質に変化させ強度を下げます。

処置における最大のポイントは、コーキング剤を奥まできちんと行き渡らせて埋めることです。そのうえで、補修跡が目立たないようにぼかしながら丁寧に塗装します。元の模様やデザインも考慮し、コーキング剤の充填、外壁塗装をします。

複雑なクラックの場合は、外壁に溝を作ってクラックを埋める処理方法も用います。そして、何よりも再発しないようにすることが重要です。

さらに、雨仕舞の一環としてドレン清掃を実施しております（前ページ右写真参照）。

日常生活での履物によるトップコートの損傷だけでなく、バルコニーのドレン部分に溜まった枯葉や塵芥にも注意してください。そのままにしておきますと、大雨によりオーバーフローを起こし、バルコニーの劣化を促進させるのです。

完璧な雨仕舞は、躍進におまかせください。ご依頼、お問い合わせは躍進までお気軽に。



**「足場パック」サマーキャンペーンをご利用ください**

ただいま躍進では、リフォーム総合提案「足場パック」のサマーキャンペーンの真っ最中です。そして、そのキャンペーンを代表する商品が、『飛驒炭 床下調湿材』『カーボエース』『床下用攪拌・換気システム』の「床下3点セット」(写真参照)です。

セラミック炭から作られた脱臭調湿材『飛驒炭 床下調湿材』は、床下に1坪あたり約12袋敷つめるだけで床下の湿気をコントロールします。底面をフィルム加工してありますので地面からの湿気もシャットアウトします。

同じく、セラミック炭から作られた土壌改良材『カーボエース』は、保肥性、保水性に優れ、病害虫の発生を抑制します。また、土中から放出されるガスを吸着するほか、pH調整機能、土中有効微生物の繁殖促進効果もあります。

『床下用攪拌・換気システム』は、中央部設置によるダイレクト換気(新方式)により1台で20坪までの床下をカバーします。これは、従来の床下換気扇3台分に相当します。換気と攪拌機能を同時に搭載した高効率換気システムであり、床下中央部の高湿エリアをダイレクトに攪拌換気します。これにより、布基礎や基礎パッキン工法、基礎断熱工法等、あらゆる構造の床下に設置可能です。

「床下3点セット」のご注文、お問い合わせは躍進までお気軽に。



## アフターコロナを考える 住宅コラム

既報 218号(2021年2月1日号)で、「with コロナ住宅」を考えると、このコロナ禍は半永久的に続く前提のもとに、新型コロナウイルスと共存していくしか道はないため、テレワークはコロナ禍の間だけの一時的な措置ではなく、これからのビジネスシーンに定着していくと述べました。

そして同時に、テレワークができる機能を兼ね備えたスペースの確保は言うに及ばず、帰宅時にウイルスを玄関で遮断できる設備や夫の「仕事部屋」の確保が求められ、夫の在宅で増えた荷物によって、より手狭になった家の中を工夫するため、収納を確保するクローゼットの必要性が高まったことを報告しています。

しかし、最近ではそうした傾向にも少しずつ変化が現れてきているようです。つまり with コロナよりもアフターコロナへの意識チェンジがなされているようで、「やはりコロナ禍は一時的なもので、それが収束すれば、ほとんどのことが以前の状態に戻るのではないか」として、本来住宅に求めるべき要素が選別されてきているのです。

これに関連して、ある民間調査機関の報告によれば、新築一戸建て、分譲マンションともに、通信環境、換気、遮音性、省エネ、収納スペースなどの基本性能や快適性確保を重視した傾向が見られたとしています。

その一方で、仕事や趣味のスペースや除菌・非接触のシステム確保には、意識が低下している模様で、「以前のように、毎日出社するのが当たり前」「必要以上に除菌・殺菌することなく、むしろ良い雑菌と共生していくべきである」という価値観が回帰してくると予想している人が目立ってきています。リモートワークが永久に続くと思って職場から遠距離の住まいを求めれば、再び通勤地獄に晒されることとなります。やはりより通勤しやすいエリアが住みたい街上位に返り咲くことでしょう。

3年より前に、今日のコロナ禍を予想して家づくり、家探しをする人は皆無だったと思います。これと同様に、コロナ禍収束後の住宅のありようについても、誰にも分からないのが本当でしょう。それを踏まえて、基本重視、原点回帰がなされるのは当然です。

住宅は、何十年も住み続けるもので、一時的な流行り廃りに左右されず、長い目で見た有効性、実効性確保が第一義であることをお施主さまに伝え理解を求めてください。

<p><b>株式会社</b> <span style="font-size: 2em; font-weight: bold;">躍進</span></p>	<p>関連会社 不動産事業 <b>株式会社</b> <b>ヤクシンジャパン</b></p>	<p><b>事業内容</b></p> <p>防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、ピンニング、シングル葺き</p> <p>木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除及び予防、調湿剤、床下換気等</p> <p>塗装工事：各種塗装</p> <p>外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、外壁等診断</p>
<p>本社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1 ☎048-688-3388 ☎048-680-7615</p> <p>東京 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F 営業所 ☎03-6804-2541 ☎03-6804-2542</p> <p>URL=<a href="http://www.yakushin.jp">http://www.yakushin.jp</a> E-mail=yakushin-no1@nifty.com</p>	<p>関連会社 株式会社 <b>First Arrows</b> <b>ファーストアローズ</b></p>	